試験成績書

殿

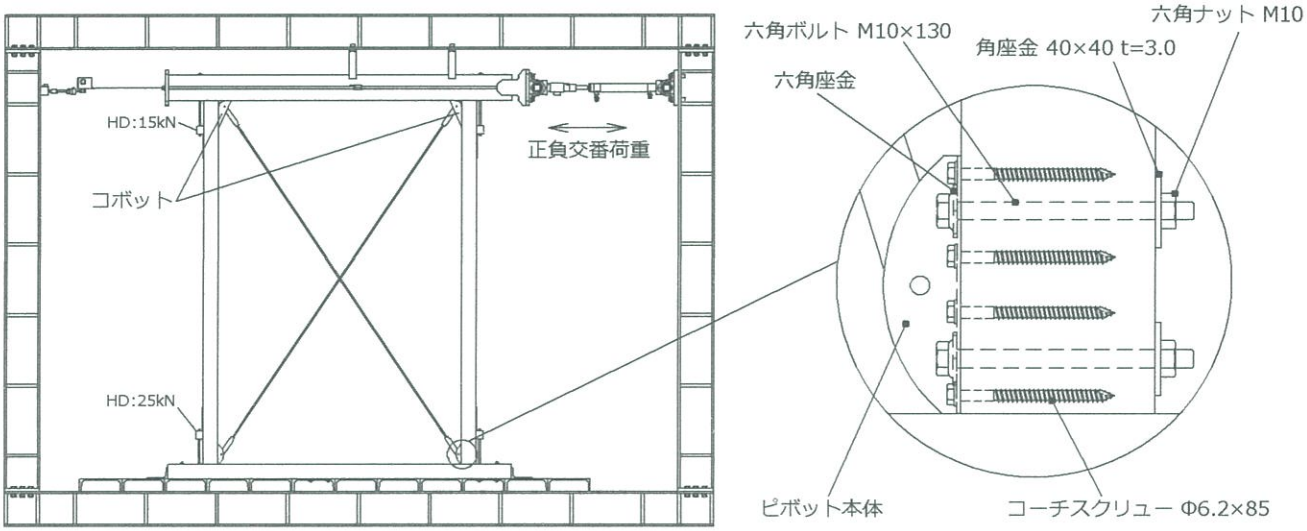
No.

2019年　09月　18日

株式会社 国元商会
大阪市鶴見区今津北3-4-27
TEL06-6962-8800(代)

試験名：ピボット壁面内せん断試験（コボット併用）	試験者：藤原 渡 白波瀬 土歧
供試体：1.壁の寸法　高さ2730mm、1820mm(芯々寸法) 2.軸組の主要材料及び寸法 1)柱・土台：スギ105mm×105mm 2)梁：ベイマツ105mm×180mm 3.供試体数＝１体 梁　側：コボット（ｺｰﾁｽｸﾘｭｰ9本留め） 土台側：ピボット（ｺｰﾁｽｸﾘｭｰ4本、貫通ﾎﾞﾙﾄ2本留め）	試験機：壁面内せん断試験装置(社内)

試験方法：(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年度版）①」の第4章に記載されている試験方法に準じて実施。



試験結果：

(a)　Py	14.29 kN
(b)　P120	10.88 kN
(c)　2/3Pmax	15.66 kN
(d)　0.2Pu/Ds	10.82 kN

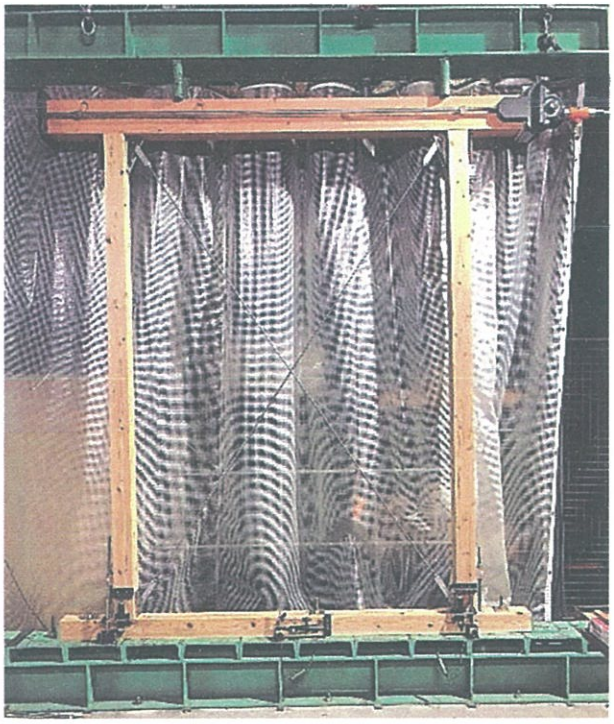
・壁倍率　10.82kN÷(1.96kN×1.82m)＝3.0倍

※上記値は自主確認試験値の為、指定性能評価機関が定める低減係数は含まず。

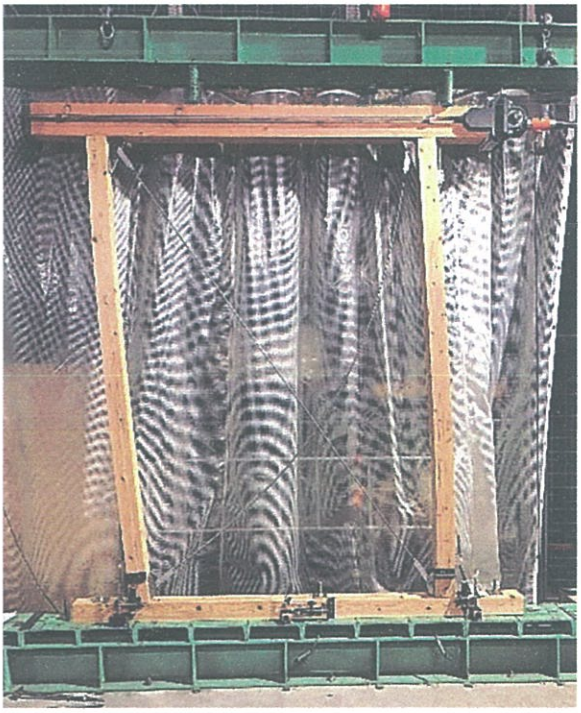
・1/70rad変形後、柱脚側の柱短ほぞの破壊が始まった。

備考：この結果は試験における実測値であり、保証値ではありません。

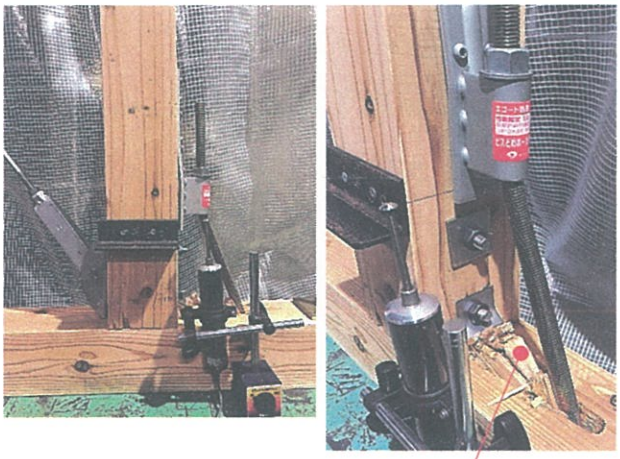
ピボット　壁面内せん断試験【 梁側：コボット、土台側：ピボット（コーチ＋貫通ボルト）】
＜柱芯々間寸法：1820㎜＞



1．試験前

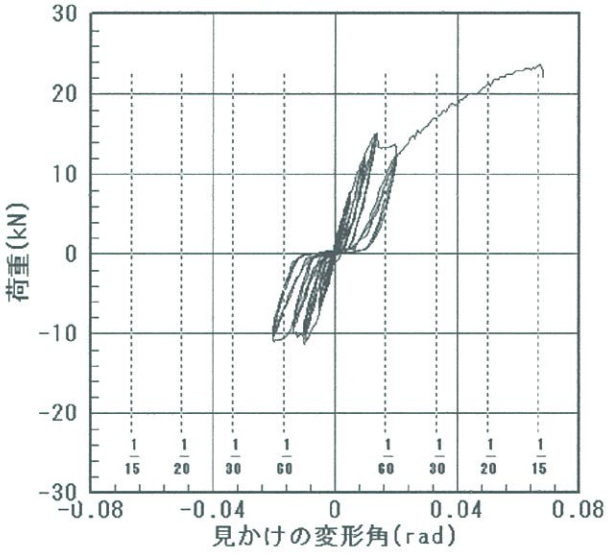


2．終局変形時（1/15rad）



短ほぞ部破壊

3．柱脚部状況（1/15rad 加力後）



荷重・変形曲線